

平成 27 年 2 月 28 日

平成 26 年度 第 1 回高槻市中心市街地活性化協議会 会議録

日 時：平成 26 年 11 月 14 日（金）午後 3 時～5 時
場 所：高槻商工会議所 4 階 大ホール
出 席 者：協議会会員 24 名
事 務 局：高槻商工会議所、高槻都市開発株式会社
市担当課：高槻市産業振興課

1 開 会

(1) 定足数の報告

会員総数 27 名中出席者 24 名で、規約第 7 条第 4 項により定められた定足数（過半数 14 名）を満たしている旨が報告され、「平成 26 年度 第 1 回 高槻市中心市街地活性化協議会」が有効に成立していることが確認された。

(2) 開会挨拶

高槻市中心市街地活性化協議会 会長 金田忠行 氏

(3) 市長挨拶

高槻市 市長 濱田剛史 氏

(4) 出席会員の自己紹介

2 平成 25 年度「高槻市中心市街地活性化基本計画」の進捗について

9 月に内閣府に報告した結果に基づき、「平成 25 年度高槻市中心市街地活性化基本計画記載事業」の進捗状況および次年度以降に残された課題について、「駅北・駅間・駅南の 3 ゾーンでの実施事業」と「場所を特定しない事業」ごとに説明があった。

(1) 中心市街地活性化基本計画の期間についての説明

平成 21 年 12 月に内閣府の認定を受けてから今年で 5 年目となり、平成 26 年度の今年度が最終年度となる。

(2) 進捗状況についての説明

基本計画事業は 67 事業あり、市が実施主体である事業は 25 事業、府及び民間の事業が 42 事業である。平均進捗率は、全体では 70.7%、市が 70.6%、民間等が 70.7% であり、市、民間とも、ほぼ同じ進捗状況であると言える。進捗率 100%が市 14 事業、民間 16 事業であり、認定を受けてから手付かずの事業はないが、進捗率 30%以下の事業が 15 事業あり、全体の約 2 割を占めているという状況である。

(3) ゾーン別の取組内容について説明

【駅北ゾーン】

駅北ゾーンについては、J R 高槻駅北東地区の開発が進み、複合棟Bデッキの基礎工事、集合住宅B棟の躯体工事が完了した。また、複合棟Aについては、平成 24 年 9 月に商業スペースが先行オープンしていたが、建物の上層部も完成し、25 年 6 月に竣工した。「古曽部天神線改良工事」のうち、西国街道線の部分に関しては、現在も進行中だが、用地買収は、ほぼ完了しており、現在も工事着手に向けて進捗中である。

【駅間ゾーン】

駅間ゾーンについては、グリーンプラザたかつき 1 号館の新規出店が進み、空テナントが減少。建物の周辺についても、駐輪設備が設置される等、利便性の向上が図られ、J R 高槻駅の南側デッキ再整備工事については現在も進行中である。

ソフト事業である「子どもの総合イベント開催事業」は、平成 13 年度から継続している“アート de わくわくストリート”（現在は“高槻アート博覧会”に改名）が、今年度、第 14 回目の開催を予定している。

「ジャズのまち発信拠点整備事業」については、認定依頼、具体的な取組みを進められないままであったが、昨年度はジャズストリートの会場となっている飲食店への音楽機材導入を検討した。予算面等から実現には至らなかったが、今後も施設整備を含め、検討を進めていく考えである。

【駅南ゾーン】

駅南ゾーンについては、「文化施設の再整備検討事業」が、昨年度も基本方針の検討を行い、内容の整理を進めているところである。現在は基本計画案について検討を行っており、今後は施設設備や管理運営について検討を進めるとのこと。

【場所を特定しない事業】

「魅力ある個店の誘致・育成事業」については、平成 22 年度から、市内の商業集積地近辺に飲食店等の個店を開く際に、その改装費の一部を補助する「創業・個店支援事業」を実施。平成 25 年度は、この事業を活用した 3 件の店舗が新たにオープンし、そのうちの 1 件は中心市街地エリア内での開店である。昨年度までに、累計 20 店舗近くが開店しているが、応募に対する採択の件数が少ない年もあり、今後はより一層の周知や制度の見直しが必要と考えている。

「中心市街地のランドマーク整備事業」については、本市マスコットキャラクター「はにたん」を、まちのシンボルとして捉え、市の玄関口である J R 高槻、阪急高槻市の両駅および J R 摂津富田に設置した。今後もさらなる情報発信やブランド力の向上を図っていく予定。

この他にも近年、「たかつきバル」や「唄まきステーション」といった、中心市街地に賑わいをもたらすイベントが誕生しており、これらの活動に対しては、今後も活動支援を続けていく予定である。

3 各会員からの情報提供

国の補助事業を活用し、ハード、ソフト事業を推進された団体を中心に発表された。

- (1) 高槻センター街商店街振興組合 理事長 木ノ山雅章
 - ・国の補助事業の概要説明
 - ・アーケード非常用照明工事および塗装工事について
 - ・「地産地消」をテーマにしたイベント等の開催について
- (2) ㈱高槻都市開発 代表取締役 中小路栄作
 - ・グリーンプラザ1号館の空き床解消について
- (3) 芥川商店街事業協同組合 代表理事 佐々木晶
 - ・商店街マップ“さんさんぼ”作成および防犯カメラの設置について
- (4) アクトアモーレ店舗会 副会長 荘田賢一
 - ・ドライ型ミスト装置の設置について
- (5) たかつき中通り本通り商店街振興会 会長 中川修一
 - ・防犯カメラの設置について

ほか、情報提供を希望する会員より発表があった。

4 今後の取り組みについて

- (1) 1期計画総括について
- (2) 2期計画認定に向けてのスケジュール案について
 - 平成27年度 基礎調査
 - 基本の方針決定計画概要作成
 - 平成28年度 内閣府へ概要提出・審査
 - 内閣府へ素案提出・審査
 - パブリックコメント実施
 - 基本計画（案）完成
 - 認定
 - 平成29年度 計画開始

5 閉 会

- (1) 閉会挨拶
 - 高槻市中心市街地活性化協議会 副会長 木ノ山雅章 氏